

I種試験・資格免許職 職員採用試験等の概要

R5.3.8

和歌山県職員採用説明会
和歌山県人事委員会



本日の説明内容

- 1 採用試験の概要と受験者の状況
- 2 求める人材
- 3 地方公務員と国家公務員
- 4 県の組織と担当業務
- 5 ジョブローテーション、人材育成
- 6 初任給
- 7 県庁職場ガイド
- 8 SNSによる情報提供



[参考] I種・資格免許職募集状況(令和4年度)

I種	試験区分		採用予定人員	資格職	試験区分		採用予定人員
	一般行政職	通常枠	65人程度		社会福祉士	14人程度	
	特別枠	5人程度	心理職員A	4人程度			
警察事務職		6人程度	心理職員B	1人程度			
情報職A		2人程度	精神保健福祉相談員	2人程度			
情報職B		1人程度	獣医師	5人程度			
総合土木職		16人程度	薬剤師	1人程度			
建築職		5人程度	保健師	7人程度			
電気職		3人程度					
機械職		1人程度					
化学職A		1人程度					
化学職B		1人程度					
農学職		10人程度					
林学職		6人程度					
水産職		2人程度					

令和4年度

技術系職種

令和5年度の募集職種・採用予定人員は4月11日から配布の「試験案内」で公表予定です。(和歌山県ホームページにも掲載)

令和5年度試験日程等(Ⅰ種試験、資格免許職)

■試験案内配布	4月11日(火)～	
■受付期間	4月18日(火)～5月19日(金)	
■第1次試験日	6月18日(日)	参考(令和4年度)
■第1次合格発表	7月上旬(予定)	6.30
■第2次試験日		
<u>一般行政職通常枠〔2日〕</u>		
7月中旬(予定)の指定する1日(個別面接①)		7.13～20
8月上旬から中旬(予定)の指定する1日(個別面接②)		8.3～10
<u>一般行政職特別枠〔1日〕</u>		
7月中旬(予定)の指定する1日(個別面接)		7.11,12
<u>技術系職種、警察事務職〔1日〕</u>		
7月中旬(予定)の指定する1日(個別面接)		7.13～25
<u>資格免許職〔1日〕</u>		
7月中旬から下旬(予定)の指定する1日(個別面接)		7.25～28

令和5年度試験日程等(Ⅰ種試験、資格免許職)

■最終合格発表

参考(令和4年度)

一般行政職通常枠

8月下旬(予定)

8.26

一般行政職特別枠、技術系職種、警察事務職、資格免許職

8月中旬(予定)

8.16

第1次試験の内容（令和5年度）

- ①**基礎能力試験（SCOA）**（択一式120題、60分）＊令和4年度より実施
一般知識・時事、文章読解能力、基礎英語、論理的思考能力、数的能力
- ②**専門試験**（択一式、120分）
＜一般行政職、警察事務職＞
4科目（「法律」「経済」「総合A」「総合B」）から選択＊詳細は後述
＜総合土木職＞
45題中25題を必須解答、残り20題中15題を選択解答
＜その他の職種＞
40題必須解答
- ③**適性検査**（全職種）
職務遂行のため必要な性格検査 ＊面接の参考資料
- ④**論文試験（1200字程度。90分 全職種）**＊採点は第2次試験で実施
当日出題された課題について自身の意見をまとめる
- ⑤**アピール論文試験**（90分）＊一般行政職特別枠のみ（事前提出）
自身が力を入れた取組内容とその過程で培った能力をアピールする試験

専門試験（一般行政職・警察事務職）の内容

②一般行政職・警察事務職の専門試験（問題数は令和4年度）

4科目の問題から受験申込時に選択（平成29年度までは40題必須解答のみ）

■法律（40題全問必須解答）

憲法(5)、行政法(12)、民法(12)、刑法(3)、労働法(3)、経済学・財政学(5)

■経済（40題全問必須解答）

経済原論(18)、財政学(4)、経済史(4)、統計学(2)、経済事情(4)、経済政策(3)、
憲法・行政法・民法(5)

■総合A（60題から40題選択解答）

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、
経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、

教育学(5)、社会福祉概論(5)、社会学概論(5)、心理学概論(5) ← 文系

■総合B（60題から40題選択解答）

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、

経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、数学・物理・化学(20) ← 理系

第2次試験の内容（令和5年度）

個別面接（全職種）

複数の面接員で実施する受験者毎の人物試験

*** 一般行政職通常枠のみ2回実施**

配点

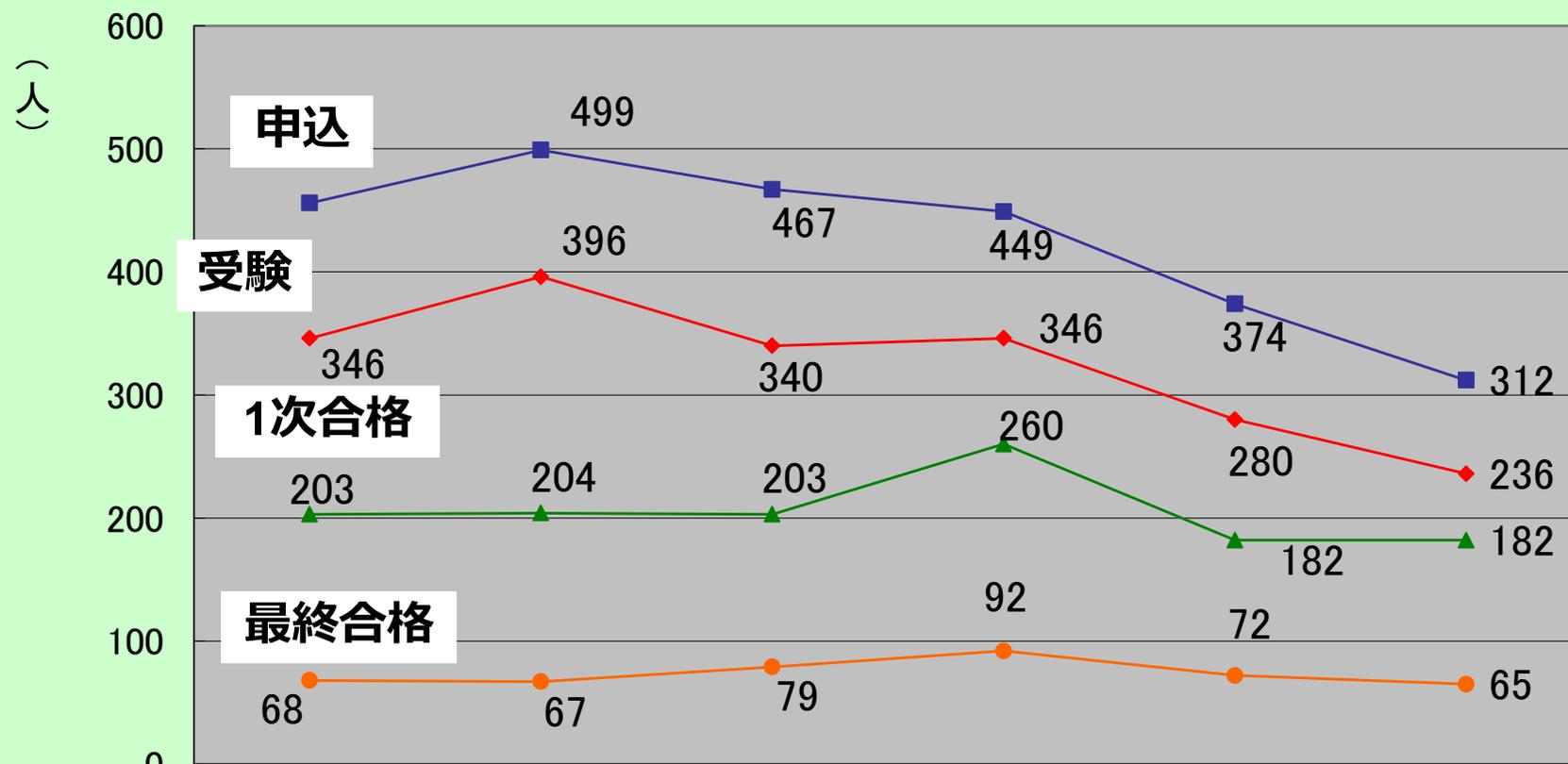
1次 < 2次
人物重視の配点

		第1次試験				第2次試験			合計
		教養	専門	70°-ル 論文	小計	論文	面接	小計	
I 種	一般行政職 通常枠	400	600	—	1000	200	1800	2000	3000
	技術系職種、 警察事務職	400	600	—	1000	200	1400	1600	2600
	一般行政職 特別枠	120	180	700	1000				
資格職	獣医師 以外	400	600	—	1000				
	獣医師	1000	—	—	1000				

* 最終合否は、1次試験及び2次試験の総合得点により決定。

* 1次試験、2次試験とも、各試験種目には合格基準あり。

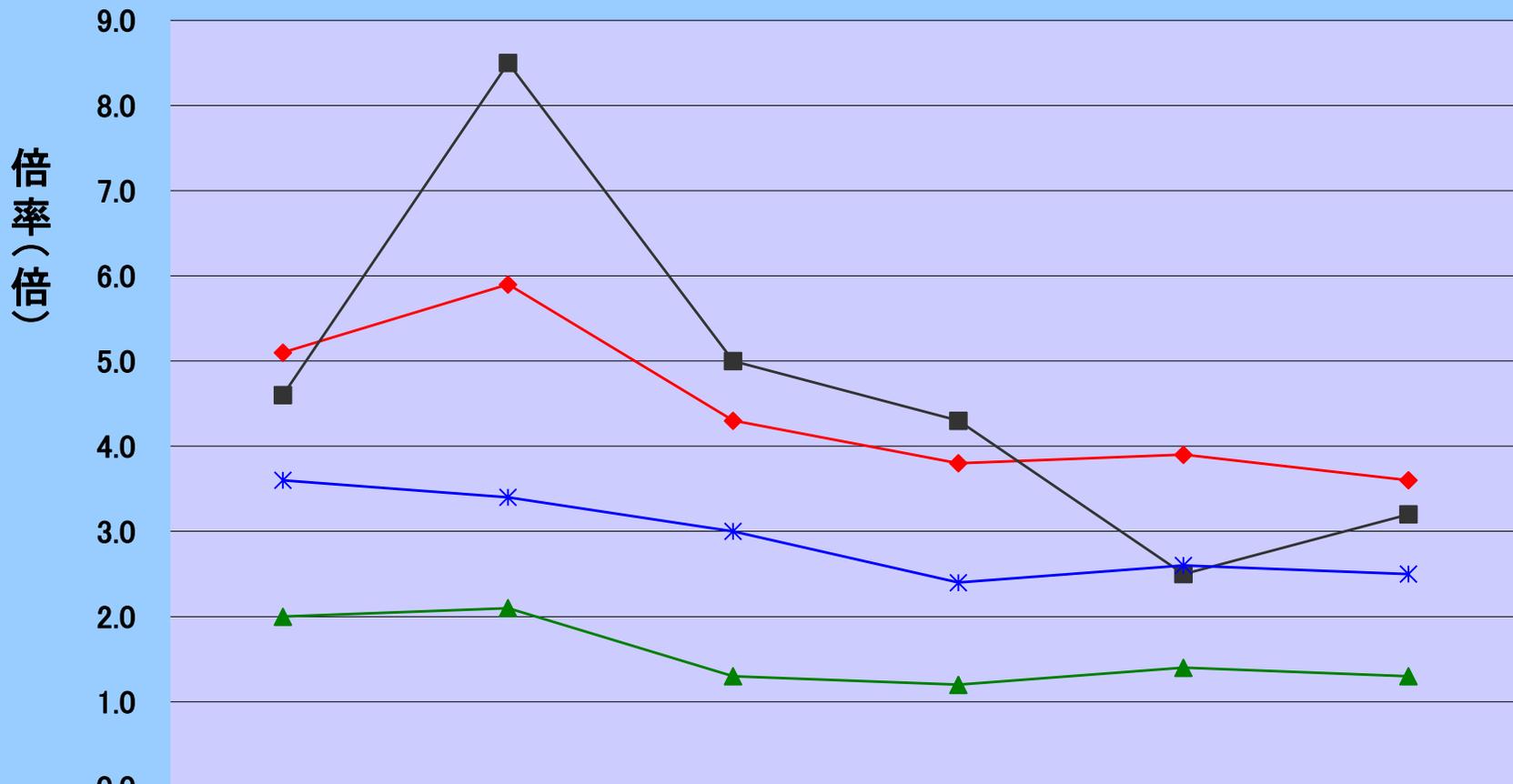
受験者数等の推移（I種一般行政職）



	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
■ 申込者数	456	499	467	449	374	312
◆ 受験者数	346	396	340	346	280	236
▲ 1次合格者数	203	204	203	260	182	182
● 最終合格者数	68	67	79	92	72	65

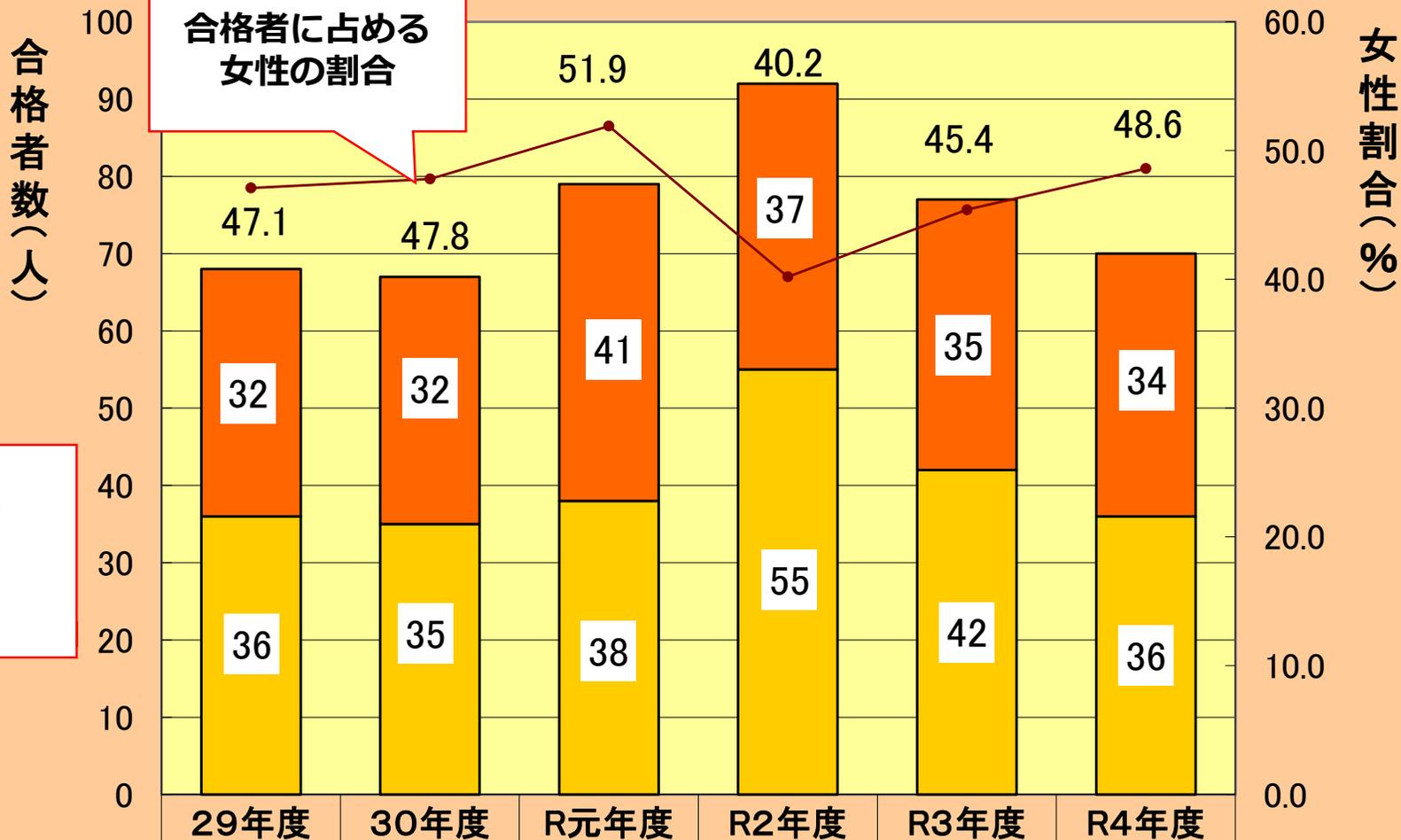
競争率の推移（I種）

※ 競争率 = 受験者 ÷ 合格者



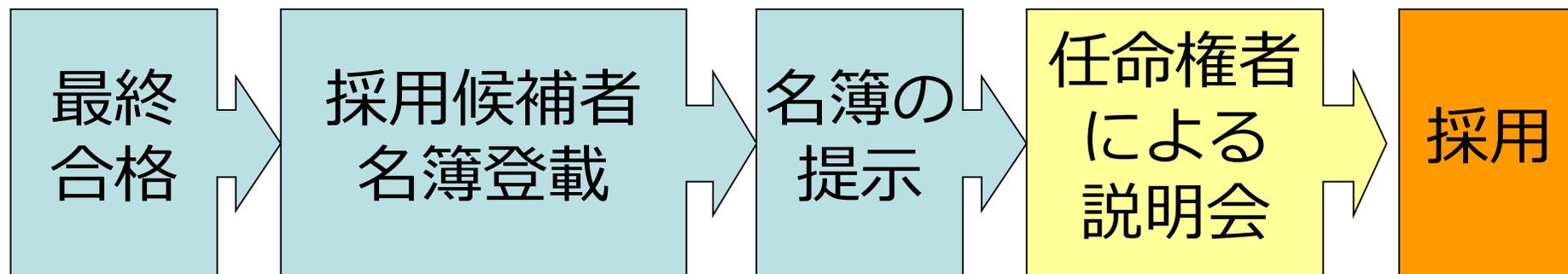
	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
◆ 一般行政	5.1	5.9	4.3	3.8	3.9	3.6
■ 警察事務	4.6	8.5	5.0	4.3	2.5	3.2
▲ 総合土木	2.0	2.1	1.3	1.2	1.4	1.3
* 農学	3.6	3.4	3.0	2.4	2.6	2.5

女性合格者数の推移（I種一般行政職）



女性合格者数	32	32	41	37	35	34
男性合格者数	36	35	38	55	42	36
女性割合	47.1	47.8	51.9	40.2	45.4	48.6

合格から採用まで



- 本人が採用を辞退したり、採用に必要な資格等を満たすことができなかった場合を除き、例年、合格者は全員採用されている。

求める人材

- 県民の幸せのために、自ら考え、主体的に行動できる人
- 高い倫理観をもち、着実に職務を遂行できる人
- 時代の流れを的確に捉え、社会の変化に柔軟に対応し、挑戦し続ける人

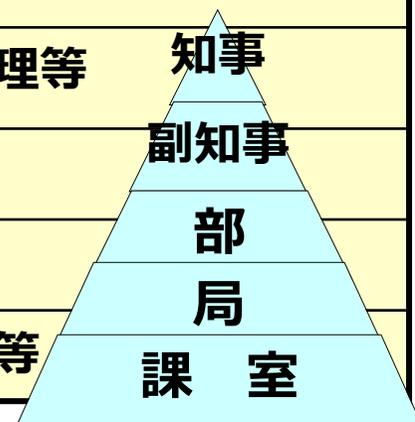


地方公務員と国家公務員

		業務の特徴	主な仕事
国家公務員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国で統一すべき業務 ・ 各府省ごとの採用 ・ 1つの省庁に入れば基本的にはその省庁内の異動 ・ 1つの分野を突き詰める ・ 法律の制定といった政策立案等 	<p>どの省庁に入るかで仕事内容は大きく異なる。 (総務省、財務省、環境省、外務省、国土交通省、厚生労働省、経済産業省 など)</p>
地方公務員	県職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹道路、河川、治山治水事業、企業誘致といった市町村の区域を超える事務(広域的事務)を担う ・ 県全体で統一すべき業務 ・ 地域の特性を生かした施策の業務 	<p>商工業、観光、農林水産業の振興、国際交流(パスポート発行)、義務教育、社会福祉の水準維持、各種認可・許可・検査など 警察の業務 等</p>
	市町村職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の行政窓口 ・ 市町村の区域内で最も地域住民の暮らしに密着した業務等 <p>※なお、政令指定都市には道府県の事務である福祉、衛生、都市計画などの事務が委譲</p>	<p>戸籍住民登録、消防、ごみ、上・下水道、公園や緑地の整備、保健福祉、文化・スポーツ活動推進、子育て支援など</p>

県の組織と担当業務

知事室	広報、意見聴取、重要施策の調整・進行管理等	
監察査察課	不正行為等通報の処理、不当要求行為に対する助言、行政監察等	
総務部	予算編成、県税徴収、財産管理、市町村助言、人事管理、防災等	
企画部	総合的な企画、人権施策、統計、情報化推進、地域振興、国際交流等	
環境生活部	環境保全、男女共同参画、消費者施策、食の安全、NPO推進等	
福祉保健部	障害者・高齢者の福祉、少子化対策、保健・医療施策等	
商工観光労働部	商工業振興、観光振興、企業誘致、労働施策等	
農林水産部	農林水産業振興に係る指導、研究、支援、販路開拓等	
県土整備部	道路、河川、港湾、公園、下水道等の基盤整備や維持管理等	知事
会計局	県の収入・支出及び物品の調達等	副知事
教育委員会事務局	教育の充実やスポーツの振興、文化財の保護、教員採用等	部
警察本部	県民の生命・身体・財産保護と、安全や社会正義の実現等	局
		課 室



主な勤務先



《左記以外の機関》

東京事務所
環境衛生研究センター
動物愛護センター
消費生活センター
男女共同参画センター
子ども・女性・障害者相談センター
精神保健福祉センター
こころの医療センター
県立高等看護学院 なぎ看護学校
難病・子ども保健相談支援センター
公営競技事務所
工業技術センター
和歌山産業技術専門学院
田辺産業技術専門学院
農業試験場 果樹試験場
かき・もも研究所 うめ研究所
暖地園芸センター 畜産試験場
養鶏研究所 林業試験場
水産試験場 農林大学校
就農支援センター
紀北家畜保健衛生所
紀南家畜保健衛生所
和歌山下津港湾事務所
土砂災害啓発センター
県内高等学校等
警察本部・県内警察署

ジョブローテーション(人事異動)

■一般行政職（I種）の場合

本庁（2年）→出先機関（3年）

→平均3～5年サイクルで様々な分野を経験
（この間、希望者を省庁・大学院等へ派遣）

■その他の職種

職種の特性に依じて、ジョブローテーションする

■昇任と人事評価

主事・技師→副主査→主査→主任→班長→

副課長→課長→局長→部長（副課長以上が管理職）

※昇任は、人事評価等を踏まえ、能力・実績主義で

人材育成

■ 新規採用職員の育成

職員研修所での県行政の基礎的事項の研修

OJT／On-the-Job Training

■ 派遣を通じた研修（令和4年度）

省 庁	内閣官房(2)、内閣府、宮内庁、消費者庁、デジタル庁(2)、復興庁、総務省(2)、外務省(2)、財務省(2)、文化庁、厚生労働省、農林水産省(3)、経済産業省(4)、中小企業庁、国土交通省(2)
海 外	外務省(2)、自治体国際化協会（ロンドン、シドニー、ニューヨーク）、日本貿易振興機構（シンガポール）、国際観光振興機構（シドニー）、タイ工業省（タイ）
民間等	2025年日本国際博覧会協会(7)、地方公共団体情報システム機構《J-LIS》、海洋研究開発機構《JAMSTEC》、新エネルギー・産業技術総合開発機構《NEDO》(2)、地方税共同機構《LTA》、みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）、住友林業（株）、（株）紀陽銀行、県農業協同組合連合会、スペースワン（株）、日本貿易振興機構和歌山事務所、（株）花王、関西広域連合(5)、関西観光本部、
大学等	東京大学大学院、東京大学先端研、東京大学「プラチナ社会」総括寄附講座、和歌山大学大学院(2)、滋賀大学大学院、政策研究大学院大学、事業構想大学院大学、自治大学校、シンガポール工科デザイン大学

※毎年公募を実施し、若手職員を中心に派遣。

初任給

■ I 種

	大学新卒	
一般行政、警察事務、総合土木、建築、電気	201,285円	
化学、農学、林学、水産	本庁・振興局	201,285円
	試験研究機関	219,240円
薬剤師・獣医師	本庁	219,765円
	保健所	227,430円
保健師	本庁	201,285円
	保健所	232,575円

■ III種（高校新卒） 166,845円

* 給与月額は令和4年4月1日採用者の額（地域手当5%を含む。）

* この他、期末・勤勉手当（4.4か月）、扶養手当、住居手当、通勤手当等支給。

勤務条件等

■ 勤務時間【週休2日制】

原則として9：00～17：45

■ 休暇等

- ・ 年次有給休暇（年20日）
- ・ 夏季休暇（5日）、産前産後休暇、病欠休暇等
- ・ 育児休業、育児部分休業、介護休暇
- ・ 育児短時間勤務制度、早出遅出勤務制度

■ 福利厚生

- ・ 地方公務員共済組合（療養の給付、年金）
- ・ 健康診断・人間ドック・健康相談
- ・ 職員住宅
- ・ 住宅資金等の貸付制度

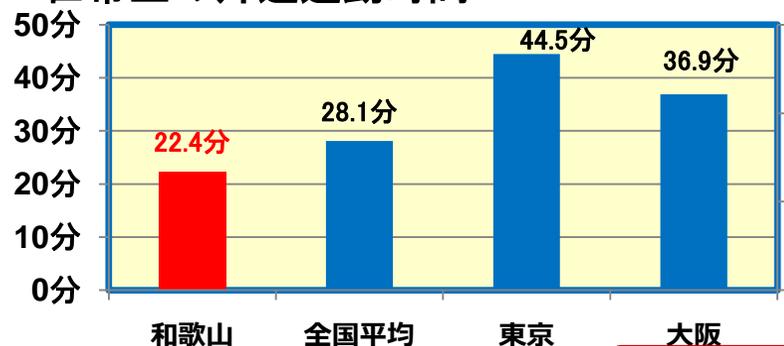
○ 暮らしやすい和歌山

■ 若い時期の充実した暮らし

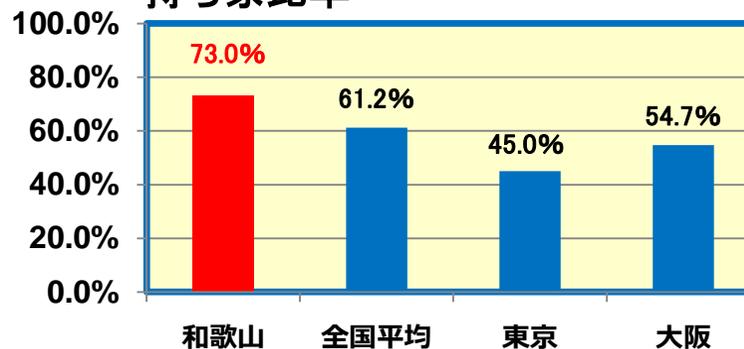
	和歌山	全国平均	東京	大阪
大学卒初任給	223,600円	225,400円	230,600円	227,600円
25～29歳の平均月給	239,100円	231,100円	265,200円	258,400円
家賃平均月額	41,094円	55,609円	80,918円	55,614円
消費者物価地域差指数	99.4	100.0	104.5	99.8

■ ゆったりとした暮らし

世帯主の片道通勤時間



持ち家比率



	和歌山	全国平均	東京	大阪
1㎡あたり住宅地平均価格	35,700円	53,372円	389,100円	152,200円
土地付住宅建築費	3,972万円	4,456万円	6,105万円	4,881万円
持ち家の延べ面積	124.4㎡	119.9㎡	93.3㎡	101.8㎡

県庁職場ガイド

県庁の魅力を知ってもらうため、若手職員と懇談の機会を提供
(所要時間：1時間30分～2時間)

〈内容〉

- ①これまでの経験談や仕事のやりがいなどの説明
- ②不安や疑問についての質疑応答
- ③興味のある職場への訪問



* 各任命権者の人事担当課へ事前に申込みが必要。
詳細は人事委員会事務局HP参照。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/210100/saiyou.html>

S N S による情報提供

-  公式Twitter「和歌山県職員採用情報」
 - ・ アカウント名 @wakayama_saiyou
 - ・ 人事委員会事務局HPにもリンクあり
-  公式Facebook
 - ・ Facebook内で「和歌山県人事委員会事務局」で検索！
 - ・ 人事委員会事務局HPにもリンクあり
-  公式instagram
 - ・ instagram内で「recruit_wakayama」で検索！

～試験案内の配布開始や受付開始、

説明会の開催情報などをタイムリーにお届け～

